



佐藤 寿枝さん  
埼玉県在住  
(上飯樋出身)

◆生れた環境に感謝

現在、日本は不景気で元気がない。企業の倒産が相次ぎ、リストラ、就職難といった問題が蔓延している。さらに不登校児の増加や学級崩壊など教育現場の廃れが顕著に現れ、社会問題、経済問題など様々な問題を抱え、社会全体に暗いムードが漂っている。

しかし、私は日本という国に生れたことを幸せに思う。世界を見渡せば、食糧難で2秒に1人が餓死する

中で、日本は今日もまた歌舞伎町で泥酔して2秒に1人(?)が嘔吐する。世界では今日という日を生きることで精一杯な国もある。そうした状況を考えるとこの国は本当に幸せだなあと思う。

…とは言え、そんな幸せな生活の中にも時折物事の壁にぶつかり悩み苦しむこともたくさんある。しかし悩み事は、夢に向かって努力できる幸せな状況であるからだと言えるのでは…。

私たち日本人には未来を描く時間と想像力がある。だからこそ世界の人たちの役に立つ責務があるのではないかと思う。だから私は、これから幅広い知識と経験を積み、社会における自分の役割を精一杯全うし、世界の人々に役に立てる人材になれるよう努力していきたいと思う。



「いいたて流  
パ。パ宣言」

どこの市町村も人口の減少、つまり少子化が大問題です。東京千代田区でも、年間270人しか生れなくて「何か対策を」というテレビニュースを見ました。

飯館村は、例年50〜60人の赤ちゃんが誕生していますが、昨年はなんと74人も生れ、とてもうれしい年でした。これからも子どもが生れやすい、育てやすい環境を皆でつくっていかねければなりません。

その1つとして、村では今度「父子手帳」を出すことにしました。別名「パ。パ宣言手帳」とも名がついています。つまり、役場に妊娠届け出にこられた時、母子手帳と一緒に父子手帳もお渡しし、父親も一緒に子育てに参加してもらおうというものです。

中にはまず「父親宣言」がこう書かれています。

- 1、一生涯 ママときみを愛します。
  - 2、ママと一緒に きみを育てます。
  - 3、家族の団らんを 大切にします。
- おっぱいは出ないけど、パパだつてママと二人で子育ての楽しみを分かち合います。…と。

また、赤ちゃんが誕生して3〜4カ月の時の父親へのメッセージは、子育ては夫婦の連携プレー！

「笑ったね」  
「歩いたね」

子育ての喜びは2人のもの。  
2人の愛が赤ちゃんにとどいています。

いっぱい名前を呼んで下さい。  
いっぱい抱っこしてあげて下さい。  
赤ちゃんは好きなんです。  
お母さんのおいややわらかさが  
お父さんの大きな手と広い胸が。

いかがです、こんなすてきな「パ。パ宣言手帳」  
欲しくはありませんか。お待ちしています。

平成16年1月31日

飯館村長 菅野 典雄